

第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会九州地区選考会および 秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会九州地区選考会 申し合わせ事項

1. 駐車場について

本大会においては、事前に駐車許可証を配付した車のみ、福岡大学B校地を駐車場として使用することができる。その際、車の外から見える位置に駐車許可証を置いておくこと。また、それ以外の車は、付近のコインパーキングに駐車する等、各自で駐車場所を確保すること。

※ 駐車許可証については弊連盟から事前に送信した google フォームに回答することで許可証を受け取ることができる

2. 競技場を使用する際の注意点について

- (1) 競技場図は、「申し合わせ事項」の最後に掲載している。
- (2) 更衣室とシャワールーム、ゴミ箱の使用を禁止する。
- (3) 大会当日の大学ごとの場所取りは、メインスタンドのみ許可する。ただし、他の大会参加者等の迷惑にならないよう十分に注意すること。また、シート等を固定する際は、必ずひもおよびテープ類（ガムテープ、養生テープ等）を使用すること。
- (4) 競技場内での部旗・横断幕の掲出を禁止する。
- (5) 競技場内においてテントを設置することは禁止する。
- (6) トラック・フィールド内およびトラックの8レーンより外側の部分（コーチングエリアを除く）でのタイム読みを禁止する。タイム読みは、メインスタンドまたは第3コーナー付近に設置するコーチングエリアから行うようにし、その際は、他の大会参加者の迷惑とならないように十分に注意すること。タイム読み、コーチングエリアについては、「3. コーチングエリアについて」を確認すること。
- (7) 応援については、メインスタンド、トラックの第1曲走路、第2曲走路、バックストレートのそれぞれ8レーンより外側の部分から行うこと。ただし、選手のウォーミングアップ等の妨げとならないように十分に注意すること。また、応援の際は、他の大会参加者の迷惑とならないように十分に注意すること。
- (8) 全体応援については、特定の大学がスタンドの広い範囲を独占したり、スタンド通路の通行や競技のスタート等の妨げとなるような応援をしたりする等、他の大会参加者の迷惑とならないように十分に注意すること。
- (9) ゴミ袋を出場校受付の際に配付するので、清掃を徹底して行い、競技場で生じたごみは各大学が責任をもって持ち帰ること。
- (10) 競技場内のすべての電源の使用を禁止する。
- (11) 競技場は全天候舗装であるため、スパイクは全天候型トラック並行ピンを使用し、長さは9mmを超えてはならない。

- (12) 当該競技の出場者以外はトラック・フィールド内に立ち入ってはならない。注意に従わない場合、その大学に所属する選手のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。
- (13) 競技場内での写真および動画の撮影について、選手のプライバシーおよび肖像権を保護するため、大会関係者および主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。許可なく撮影している者を発見した場合、厳重に処分する。詳細は、本連盟のホームページに掲載する「写真および動画撮影についての注意事項」を確認すること。
- (14) 競技者は、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話、スマートフォン、もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用してはならない。そのような競技者は、助力を与えたり受けたりしているとして競技役員によって警告される。さらに助力を繰り返すと、その競技者は失格となる。なお、その他の競技者に対する助力については、2024年度日本陸上競技連盟競技規則TR 6を確認すること。
- (15) 医務室は、競技場内に設置する。なお、競技中の発病・負傷に関して、主催者側で応急手当は行うが、それ以上の責任を負わない。ただし、競技者は、2024年度(公社)日本学生陸上競技連合普通会員であり、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必ず保険証(コピー可)を持参すること。
- (16) 貴重品の管理は、各大学および個人で責任をもって行うこと。盗難・紛失について、主催者は一切責任を負わない。拾得物があった場合は、インフォメーション・センターで一時的に保管する。
- (17) 開門時刻と閉門時刻は、本連盟のホームページに掲載する「競技日程」を確認すること。ただし、予告なく変更する場合がある。また、開門時刻前、閉門時刻後は競技場内に立ち入らないこと。開門前、閉門後に許可なく競技場内に立ち入っている大学を発見したときは、厳重に注意し、その大学に所属する選手のそれ以降の競技の出場を認めない場合がある。

3. コーチングエリアについて

- (1) 本大会において、トラック・フィールド外にいるコーチや監督等の競技者以外の者は、競技者に対して競技中のタイムを伝えること(以下、タイム読みという)ができる。ただし、タイム読みは、メインスタンド、第3コーナー付近に設置しているコーチングエリアからのみ認める。許可されていない場所からのタイム読みを行った場合、2024年度日本陸上競技連盟競技規則TR 6.2を適用し、助力を受けたとして当該選手を失格とする場合がある。
- (2) コーチングエリアを使用できるのは、事前に使用許可申請があった者に限る。詳細は、本連盟のホームページに掲載する「コーチングエリアの使用許可申請について」を確認すること。
- (3) (2)における事前の使用許可申請があった者に対して、大会当日、インフォメーション・センターで使用許可証としてネームプレートを配付する。コーチングエリアを使用する際は、必ずネームプレートをつけておくこと。ネームプレートをつけずにコーチングエリアを使用することは禁止する。
- (4) タイム読み以外の目的でコーチングエリアを使用することは禁止する。
- (5) コーチングエリアの場所については、競技場図を確認すること。

4. 競技場練習について

大会前日および大会当日の陸上競技場での練習については、以下の(1)～(3)に従うこと。また、陸上競技場を使用する際は、必ず競技役員の指示に従い、安全に留意すること。

(1) 陸上競技場を使用できる時間は、以下の通りとする。

日付	時間
6月1日(土)	7:00～18:30
6月2日(日)	7:00～14:00

(2) 大会当日、開閉会式が行われる時間帯は、メインストレートの使用を禁止する。

(3) 大会当日、競技開始20分前から競技終了までの時間帯は、第1曲走路、第2曲走路、バックストレートの7,8レーンおよび8レーンより外側の部分を使用すること。

5. 出場校受付について

出場校受付は、大会当日の開会式開始時刻までにインフォメーション・センターで必ず行うこと。

6. 開閉会式について

開会式および閉会式は、トラック・フィールド内のメインストレート側で行う。日時は、本連盟のホームページに掲載する「**競技日程**」を確認すること。

※開閉会式には、原則として各大学5名以上は参加すること。ただし、部員数等の関係でやむを得ず5名以上参加することができない場合を除く。

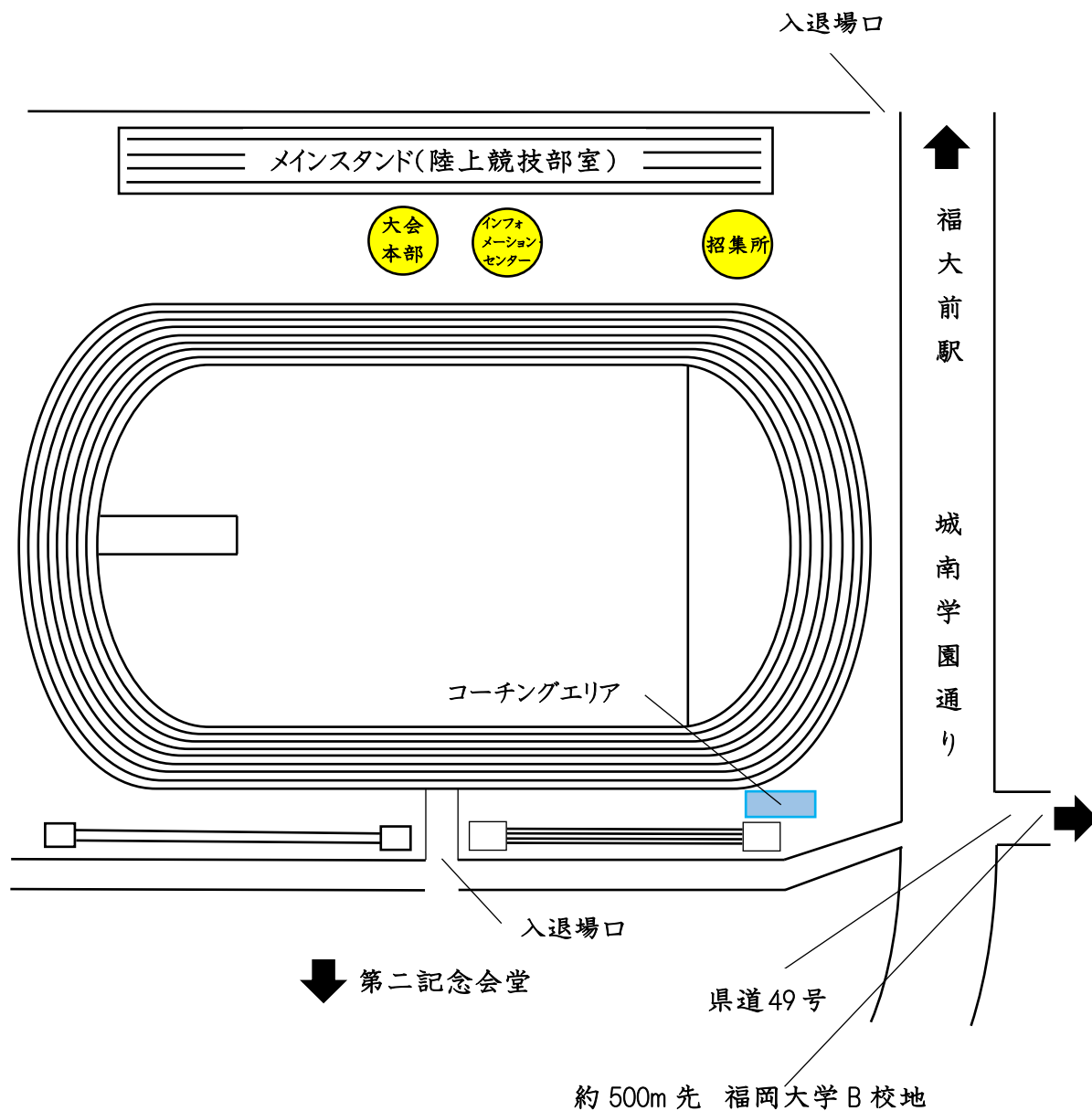
※開閉会式には、部旗を持参すること。

7. その他

(1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を厳守し、個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の参加審査、プログラムの編成および作成、記録発表、公式ホームページその他大会運営および競技に必要な連絡等に利用する。

(2) 大会に参加する大学は、本連盟が要請する審判・補助員を責任をもって派遣しなければならない。原則として、要請通りの人数を派遣すること。要請に著しく従わない場合は、大会への参加を認めない場合がある。

【競技場図】



※ 大会運営上の都合により、「秩父宮賜杯第56回全日本大学駅伝対校選手権大会九州地区選考会 申し合わせ事項」の内容を変更する場合があります(大会当日を含む)。

※ 以上の内容以外でも特別に競技役員から指示があった場合は、必ず従うこと。